

スーパーマーケット景気動向調査

9月調査結果(8月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリについて、当月における好調カテゴリと不調カテゴリとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目①

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3カ月前と比較した現状及び今後2~3カ月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2012年9月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

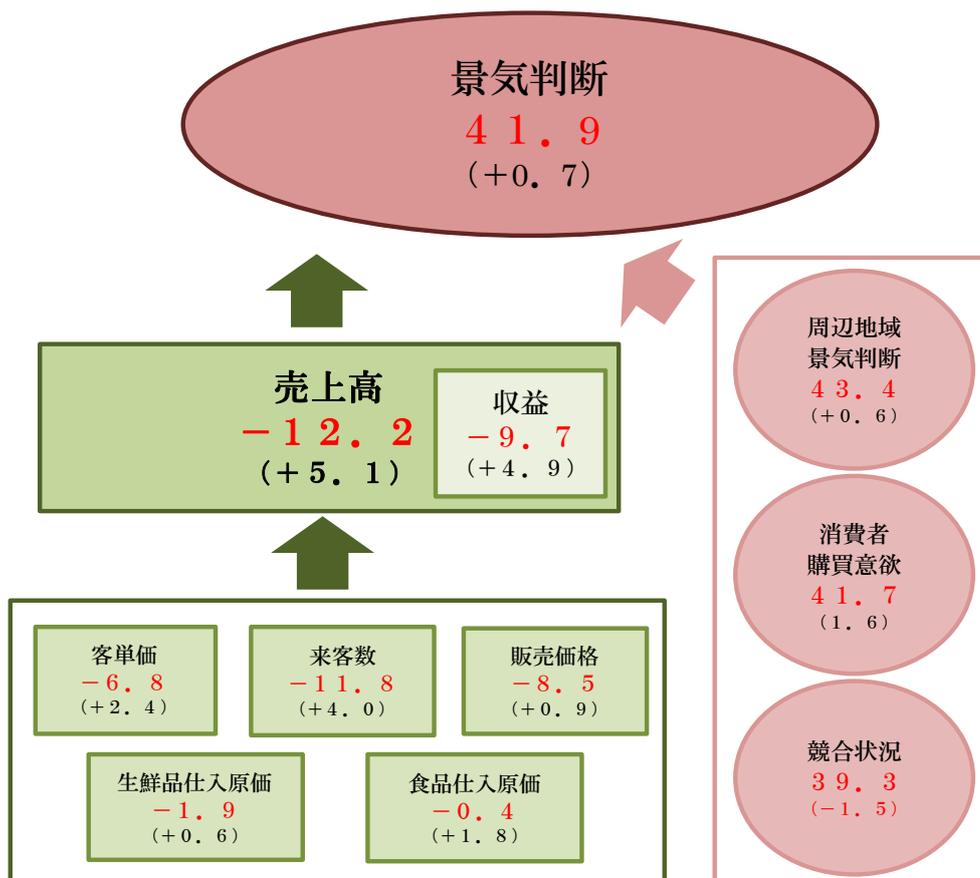
I. 調査結果概況

8月スーパーマーケット中核店舗における景気判断は、前月より0.7上昇して41.9となった。

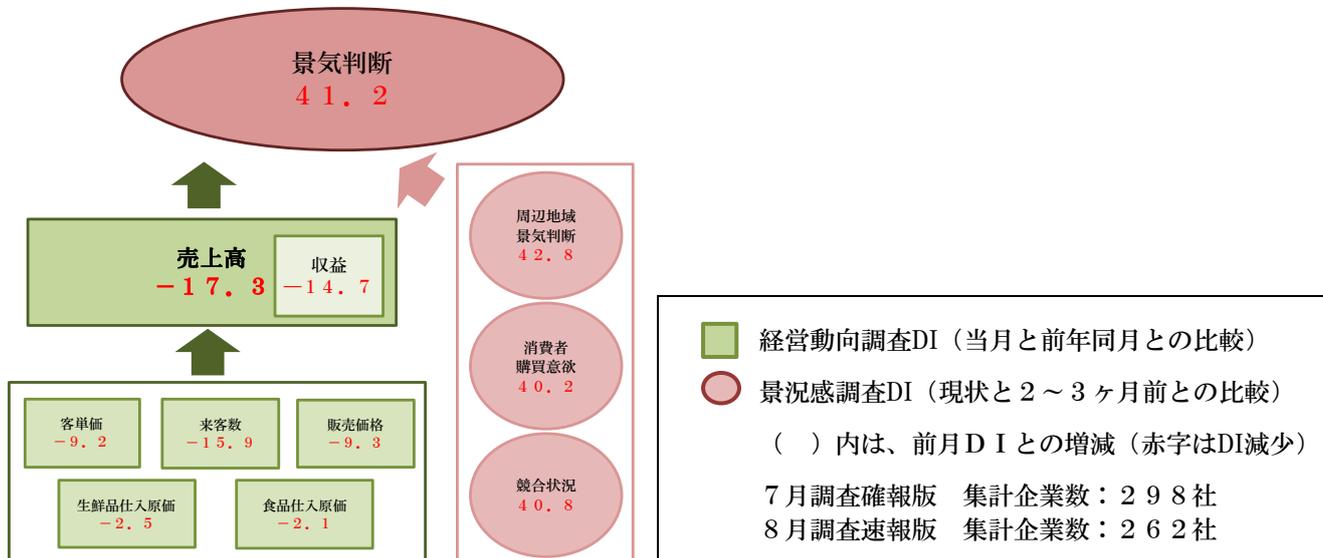
売上高DI、収益DI共に上昇しそれぞれ-12.2、-9.7となり、来客数DIが+4.0、客単価DIが+2.4と小幅に回復したことによるものと考えられるが依然として厳しい水準といえる。仕入原価DIは生鮮品が-1.9、食品が-0.4となっている。また販売価格DIは-8.5と小幅な回復にとどまっている。

景況感現況判断DIについてはほぼ横ばいで推移し、一旦下げ止まりを見せている。一方で見通し判断DIは引き続き下降傾向が続いており、前月のDI下落は前年猛暑の反動だけでなく、景気減速が含まれていたことをうかがわせる。次月各見通し判断DIが下げ止まりをみせるか動向に注目したい。

8月中核店舗における景気動向（速報版）



7月中核店舗における景気動向（確報版）



II. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

（前月からの回答構成比の変化：↑ やや増加 / ↓ やや減少）

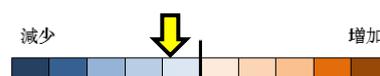


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	14.1	54.9	18.5	11.1	1.3	-17.3
売上高（当月）	10.7	47.7	23.3	16.4	1.9	-12.2



②収益 DI

（前月からの回答構成比の変化：↑ やや増加）

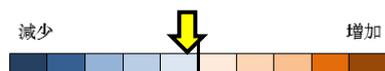


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	12.6	47.4	27.0	11.9	1.0	-14.7
収益（当月）	8.9	44.0	26.6	18.1	2.3	-9.7

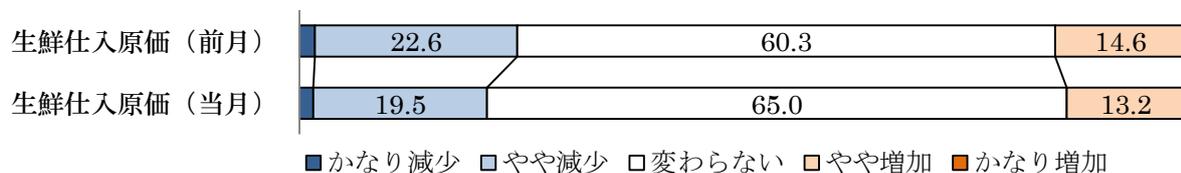


③生鮮仕入原価 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

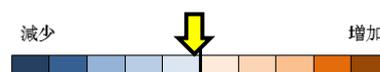


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	1.7	22.6	60.3	14.6	0.7	-2.5
生鮮仕入原価（当月）	1.6	19.5	65.0	13.2	0.8	-1.9

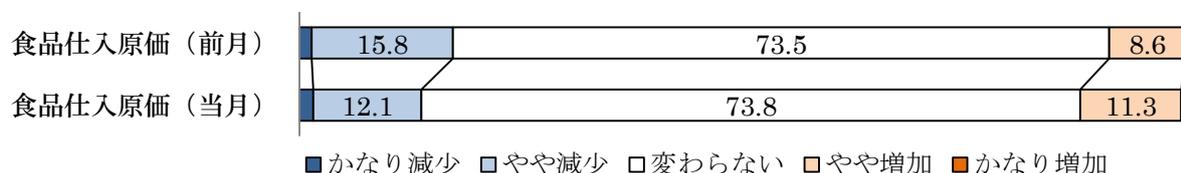


④食品仕入原価 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

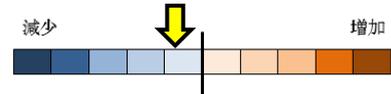


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	1.4	15.8	73.5	8.6	0.7	-2.1
食品仕入原価（当月）	1.6	12.1	73.8	11.3	1.2	-0.4

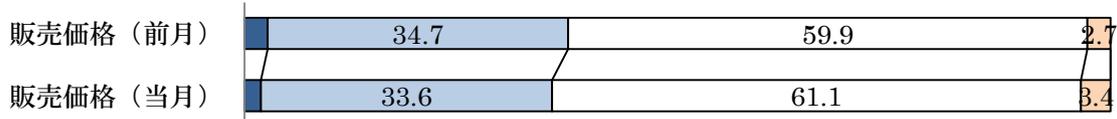


⑤販売価格 DI

(前月からの回答構成比の変化：横ばい)



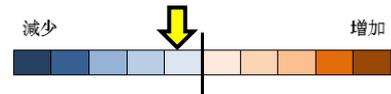
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	2.7	34.7	59.9	2.7	0.0	-9.3
販売価格 (当月)	1.9	33.6	61.1	3.4	0.0	-8.5



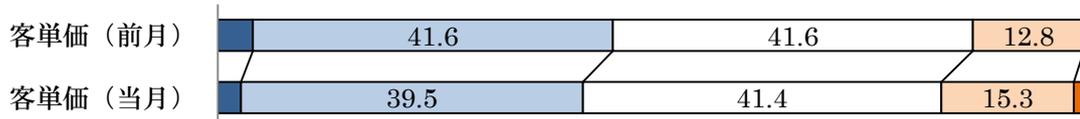
■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

⑥客単価 DI

(前月からの回答構成比の変化：横ばい)



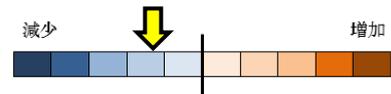
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	4.1	41.6	41.6	12.8	0.0	-9.2
客単価 (当月)	2.7	39.5	41.4	15.3	1.1	-6.8



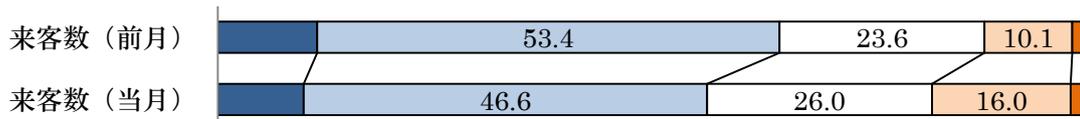
■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

⑦来客数 DI

(前月からの回答構成比の変化：↑ やや増加 / ↓ やや減少)



回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	11.5	53.4	23.6	10.1	1.4	-15.9
来客数 (当月)	9.9	46.6	26.0	16.0	1.5	-11.8



■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

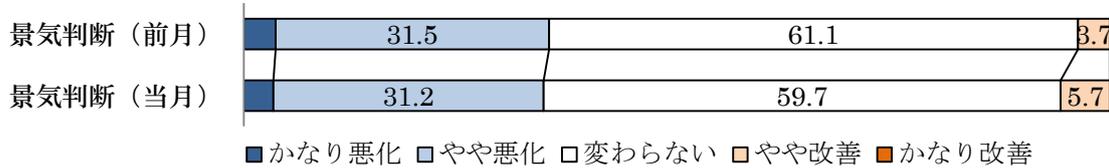
2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前と比べて）

①景気判断 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）



回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	3.7	31.5	61.1	3.7	0.0	41.2
景気判断（当月）	3.4	31.2	59.7	5.7	0.0	41.9

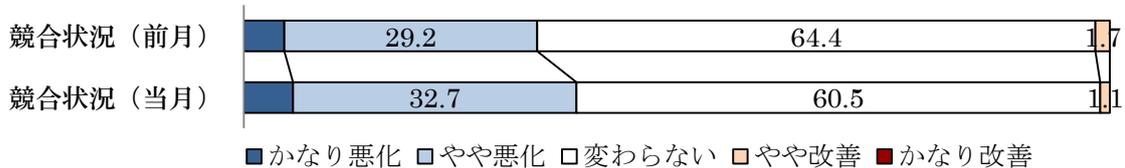


②周辺競合状況 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

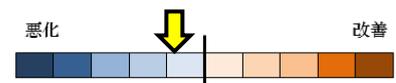


回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	4.7	29.2	64.4	1.7	0.0	40.8
競合状況（当月）	5.7	32.7	60.5	1.1	0.0	39.3

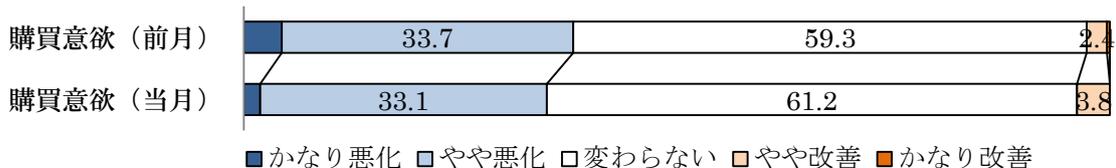


③消費者購買意欲 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

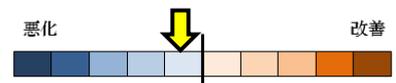


回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	4.4	33.7	59.3	2.4	0.3	40.2
購買意欲（当月）	1.9	33.1	61.2	3.8	0.0	41.7



④周辺地域景気状況 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）



回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	0.7	27.7	71.3	0.3	0.0	42.8
地域景気（当月）	1.9	24.1	72.4	1.5	0.0	43.4

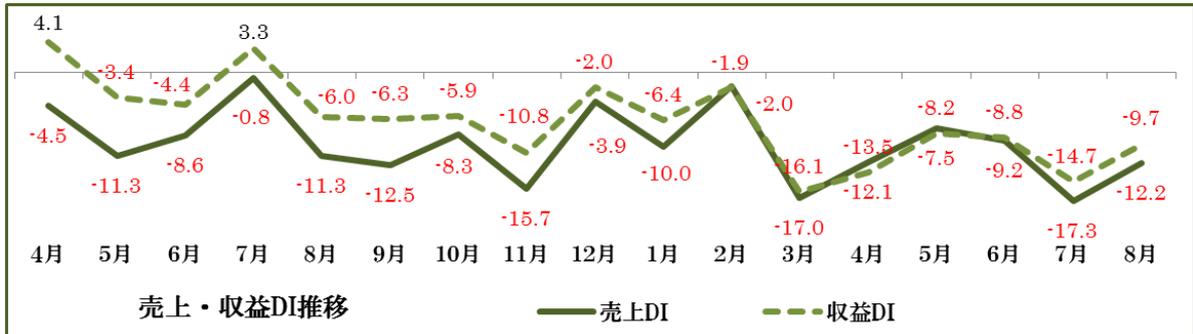


II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

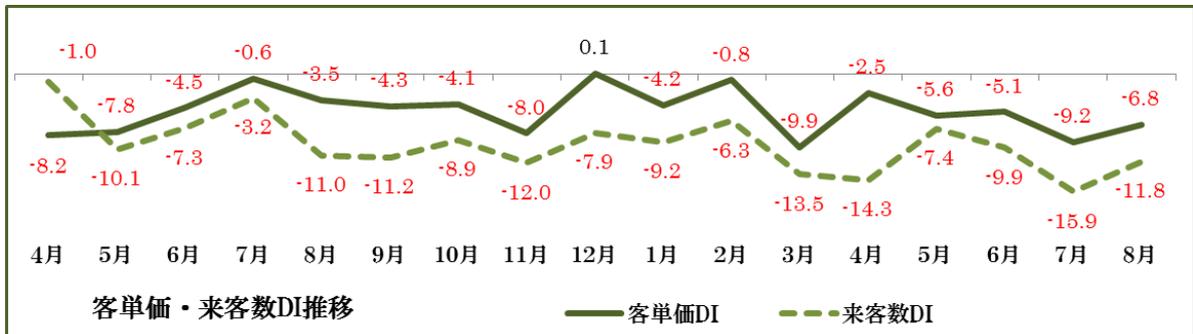
①売上高DI・収益DI

「売上高DI」「収益DI」共にやや上昇



②客単価DI・来客数DI

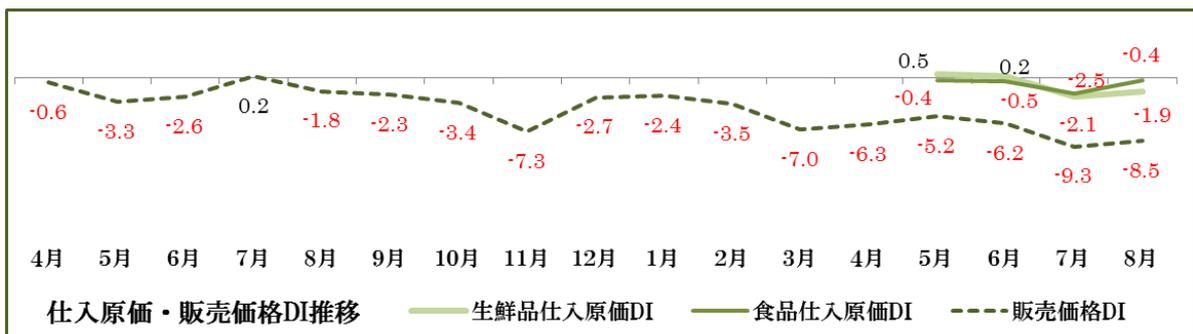
「客単価DI」「来客数DI」共にやや上昇



③生鮮品仕入原価DI・食品仕入原価DI・販売価格DI

「生鮮品仕入原価DI」横ばい、「食品仕入原価DI」小幅に上昇

「販売価格DI」わずかに上昇



2. スーパーマーケット景況感調査

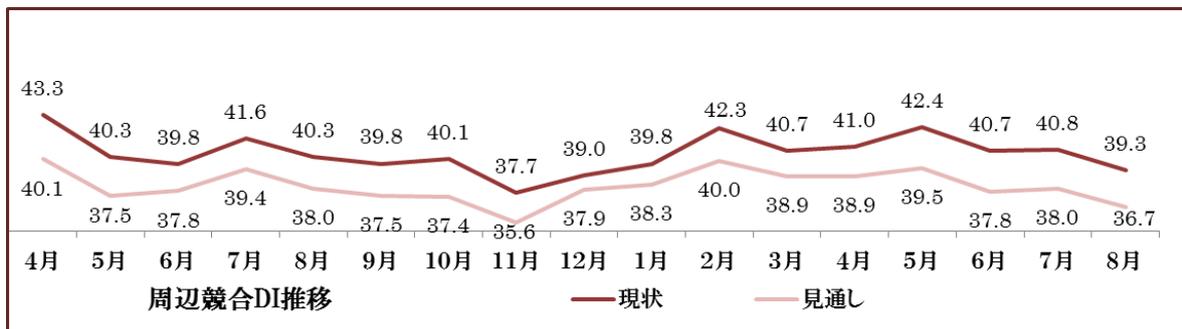
①景気状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断はやや回復、見通しはほぼ横ばいも5ヵ月連続で下降



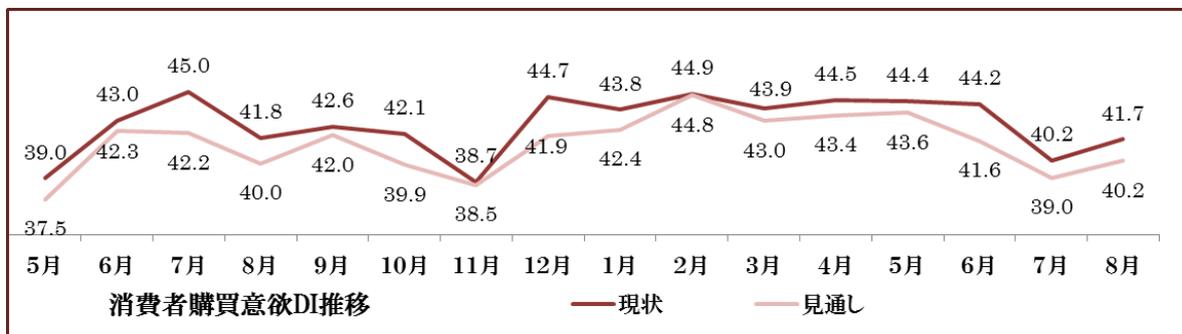
②周辺競合状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断、見通し判断は共にやや下降



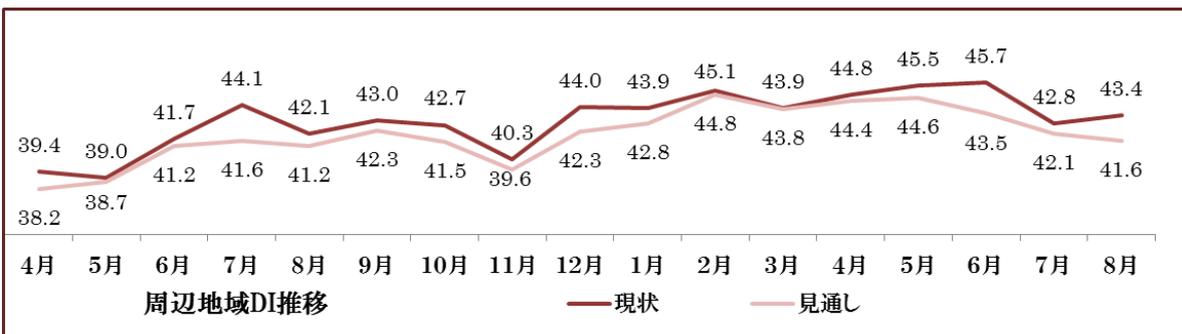
③消費者購買意欲 DI (現状判断・見通し)

現状判断、見通し共にやや上昇



④周辺地域 DI (現状判断・見通し)

現状判断は小幅に上昇、先行きは4ヵ月連続の下降

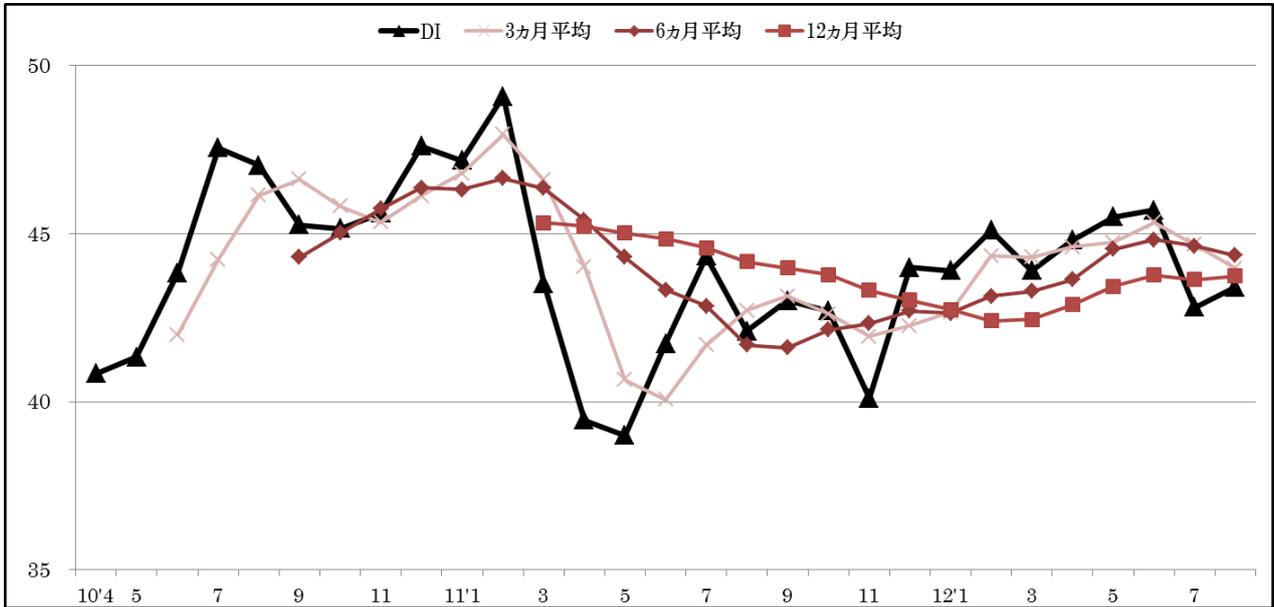


III. 調査関連資料

1. 移動平均（周辺地域景気DI 現状判断・見通し）

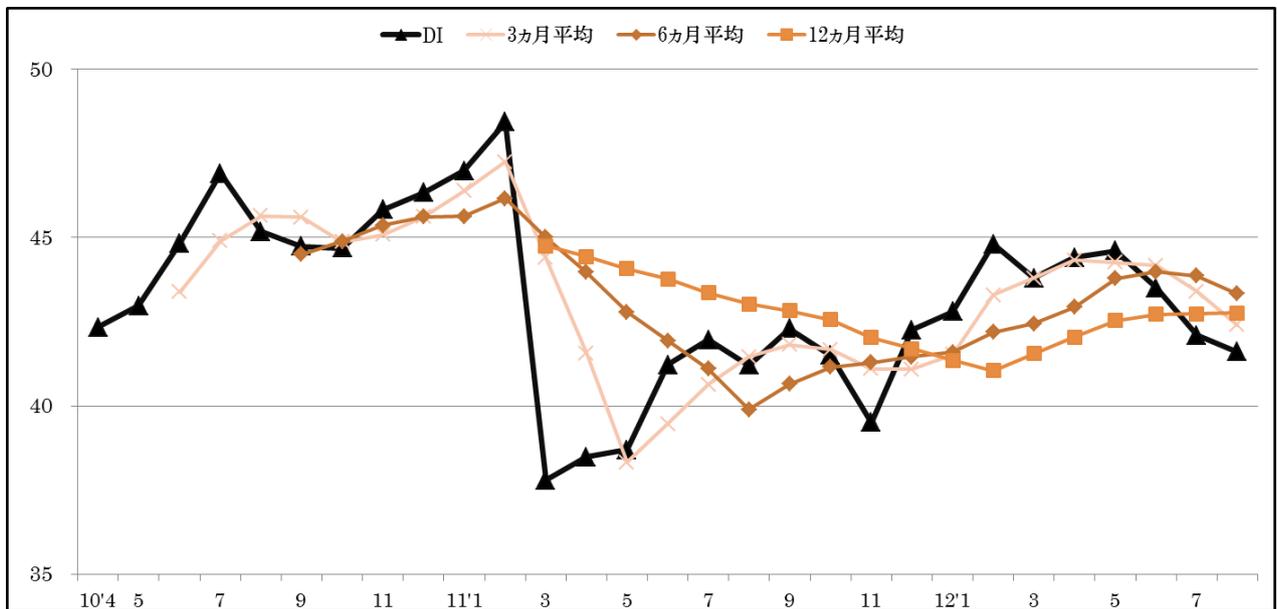
①現状判断

単月DIは小幅に上昇も先月同様各平均線を下回る推移となった
 12ヵ月平均線はほぼ横ばい、3・6ヵ月線は下向きに推移している



②見通し判断

単月DIは4ヵ月連続で下降しており、各平均線を下回る結果となった
 12ヵ月平均線はほぼ横ばい、3・6ヵ月線は下向きに推移している

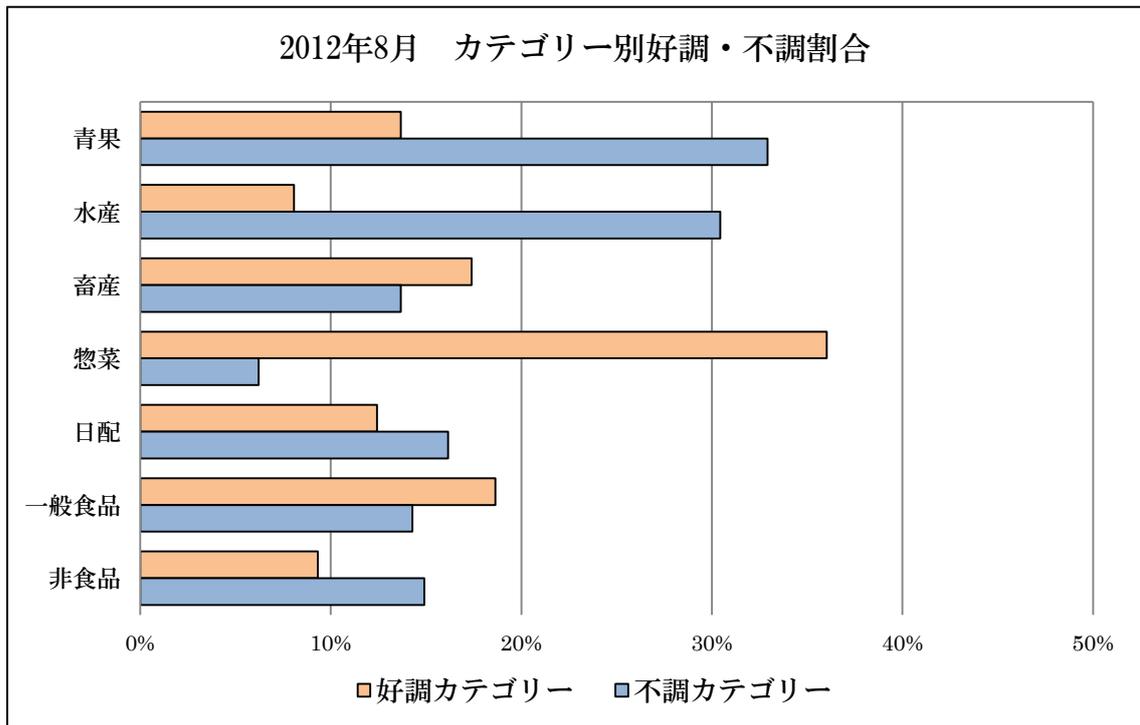


2. カテゴリー別動向

①好調カテゴリー・不調カテゴリー

好調の割合が多いカテゴリー：①「惣菜」②「一般食品」③「畜産」

不調の割合が多いカテゴリー：①「青果」②「水産」③「日配」



※N=161 複数回答あり

②カテゴリー別主なコメント

カテゴリー	好調-不調	主なコメント
青果	-31	果物好調/相場安、猛暑による品質低下
水産	-36	不漁による品薄(さんま)、うなぎ価格高騰
畜産	6	牛肉前年風評被害の反動増/豚肉、鶏肉などの反動減
惣菜	48	猛暑により調理敬遠傾向、お盆期間、オリンピック開催
日配	-6	猛暑により夏物好調(アイスクリーム、冷麺等)/和日配、パン類不調
一般食品	7	猛暑により夏物好調(飲料等)、米価上昇/秋物不振、同他業種との競合
非食品	-9	たばこ前年数量調整の反動増/秋冬衣料不調、同他業種との競合

※「好調-不調」：好調とした回答数から不調とした回答数を減算

※「主なコメント」：カテゴリーに多く寄せられたキーワードを抜粋

3. 販売に影響を与えた要因に関するコメント

キーワード TOP 3

1. お盆期間の動向
2. 天候による影響(猛暑、ゲリラ豪雨)
3. 競合による客単価・客数への影響